



2026年2月13日

各 位

会 社 名 フジコピアン株式会社
本社所在地 大阪市西淀川区御幣島五丁目4番14号
代 表 者 名 代表取締役社長 佐々木 敏樹
(コード 7957 東証スタンダード、福証本則)
問 合 せ 先 代表取締役専務 上田 正隆
電 話 番 号 06-6471-7071

特別損失の計上(減損損失)および、2025年12月期連結業績予想数値と実績値との差異
ならびに役員報酬減額に関するお知らせ

当社は2025年12月期において、下記のとおり、特別損失(減損損失)を計上するとともに、2025年11月14日に公表いたしました2025年12月期通期の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、役員報酬の減額についても、併せてお知らせいたします。

記

1. 2025年12月期 通期連結業績予想数値と実績値との差異(2025年1月1日～2025年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,300	百万円 △ 370	百万円 △ 340	百万円 △ 350	円 銭 △ 228.66
実績値(B)	8,475	△ 230	△ 162	△ 2,701	△ 1,764.63
増減額(B-A)	175	140	178	△ 2,351	
増減率(%)	2.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2024年12月期)	8,984	△ 15	94	397	259.86

特別損失(減損損失)の計上および差異の理由

通期業績につきましては、サーマルトランスファーマEDIA、テープ類をはじめとする各品群における徹底した増販活動を展開するとともに、原燃料コスト等の価格転嫁推進を行う一方で、生産性の向上ならびに聖域なき経費削減に取り組むなど、当社グループをあげて、販売面、生産面等様々な施策を実施いたしました。その結果、売上高ならびに営業利益および経常利益におきまして前回公表した業績予想数値を上回ることになりました。一方で、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当社が保有する固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の収益見込み等を踏まえて回収可能性の検討を行った結果、帳簿価額を回収可能額まで減額し、特別損失(減損損失)を24億7千5百万円計上することとなったため、前回公表した業績予想数値を下回ることになりました。

2. 役員報酬減額について

2025年11月14日開催の取締役会決議に基づき、2026年1月から3月まで役員報酬の減額を行っておりますが、上記の状況を鑑み、以下の通り、減額を延長することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

(1)役員報酬の減額内容

代表取締役社長	月額報酬の20%減額
代表取締役専務	月額報酬の15%減額
取締役(監査等委員である取締役を除く)	月額報酬の7%減額
上席執行役員および執行役員	月額報酬の5%減額

(2)対象期間

2026年4月から12月まで(9ヶ月間)

なお、取締役(監査等委員である取締役を除く。)につきましては、2026年3月に開催予定の第76回定時株主総会にて選任議案(再任を含む)を付議する予定です。同定時株主総会で選任されることを前提として減額を継続いたします。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上